



まちだ史考会（会員のみ）

第83回 講演会のお知らせ

演 題：「戦時期・占領期・復興期を生きた
町田の人びと」

～戦争と占領はいかに都市近郊農村を変貌させたか～

講 師：^{かみた}上田 誠二先生 日本女子大学 准教授

日 時：2022年11月26日(土)14時00分～16時00分

場 所：町田市民フォーラム・3階ホール（会場内「マスク着用」）

内 容：町田で戦争と占領を生き抜いた人びとの「声なき声」に可能なかぎり耳を傾けます。子ども／大人、青年／壮年、男子中学生／女学生など。彼ら／彼女たちの経験の諸相を、個人日記や写真資料、同窓会雑誌、残された役場資料などから跡づけ、現在につながる私たちの地域社会の変貌ぶりを垣間見ます。

〔略 歴〕 1971年3月、栃木県宇都宮市生まれ。

2006年3月、東京都立大学より博士（史学）の学位を授与。

2008年9月～2016年3月、町田市教育委員会生涯学習部嘱託職員。

まちだ市民大学HATSの郷土史講座、生涯学習センターの平和祈念展等を担当。

2020年4月、日本女子大学人間社会学部現代社会学科准教授。

〔主な担当（専門）〕 日本近現代史。主な対象時期は大正期から高度成長期。

社会史や文化史を教育や音楽を交え研究。フィールドは神奈川県や多摩地域。

〔主な著書・共著〕 著書に『音楽はいかに現代社会をデザインしたか—教育と音楽の大衆社会史』（新曜社、2010年）、『「混血児」の戦後史』（青弓社、2018年）。共著に『こんなに変わった 歴史教科書』（新潮文庫、2011年）、『近代日本の都市と農村—激動の1910—50年代』（青弓社、2012年）、『日本の吹奏楽史 1869—2000』（青弓社、2013年）、『展開された厚生音楽—戦争・職場・レクリエーション』（金沢文圃閣、2021年）ほか。

参加費： 500 円

定員 94 名

主 催：まちだ史考会

会 長 佐々木 庸夫

〈連絡先〉 原澤 734-4522

越地 782-6855

*コロナの感染状況によっては

中止もあります。

